弥富市立桜小学校で「ＡＩの画像認識機能を活用した防災クイズシステム」を活用した防災講座を行いました

東海豪雨から２５年の節目を迎えた令和７年９月１２日（金）、弥富市立桜小学校で６年生７２名に「ＡＩの画像認識機能を活用した防災クイズシステム」を活用した防災講座を行いました。このシステムは今回の講座がお披露目でした。

講座では、ＡＩアバター「伊勢湾太郎さん」の避難用品・ハザードマップ・避難行動に関する質問に対して、複数のカードから正解だと思うカードをＷＥＢカメラに提示する形でクイズを行いました。児童たちは、どのカードが正解なのか理由も含めて考えながら、グループ内で話し合い答えを決めていました。また、楽しみながらも多くの児童がメモを取り、防災についての学びを深めている様子でした。

講座を通して、「クイズがとても楽しくて、水害のときにはクイズの答えを思い出して行動したいです。」「知らないことをたくさん教えてくれて、勉強になったしよく分かりました。」「いつなにが起きるか分からないので、避難用品を準備したりしっかり備えて、自分の命や大切な人の命を守れるようにしたいです。」などの感想がありました。

ＡＩを使用した本講座が、児童たちの防災に関する意識や学習意欲の向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、東海テレビ・テレビ愛知・朝日新聞に取材頂きました。